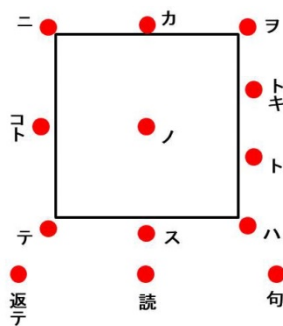


ヲコト点(訓読記号)の整数座標表現

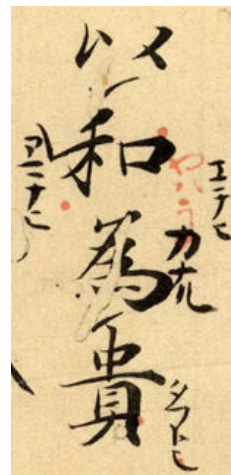
高田 智和

ヲコト点とは

- ・平安・鎌倉時代を中心に使われた漢文訓読記号
- ・漢字の内部や周辺に記入して読み方を示す記号
- ・学派や宗派の違いにより100種類以上があった
- ・片仮名にとって代わられて衰退
- ・平安・鎌倉時代の訓点資料を解読するにはヲコト点の知識が必要



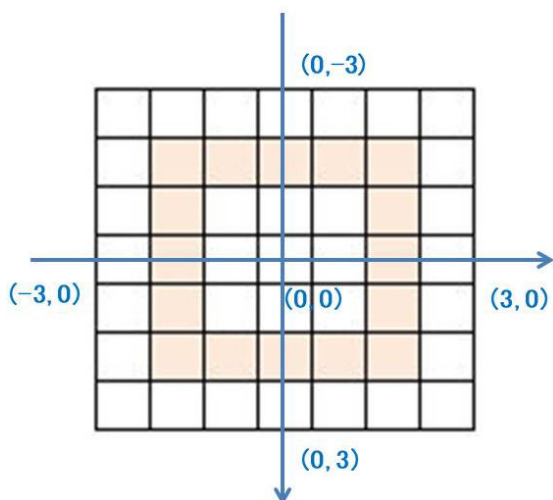
ヲコト点図(星点)



岩崎本日本書紀推古紀
(朱点は平安中期末)

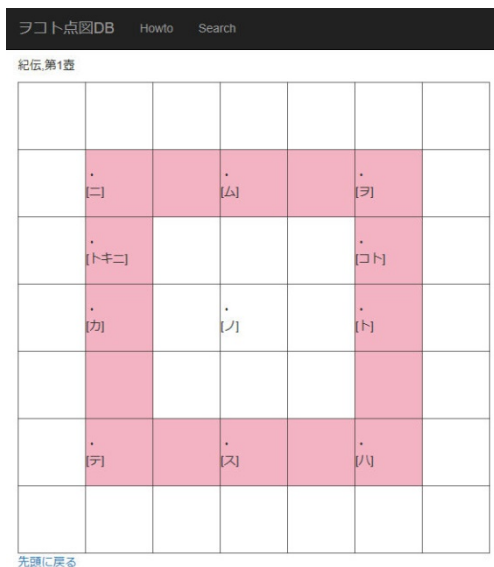
ヲコト点の座標表現

- ・従来は「右上のヲ」「左下の離れたテ」などと表現
- ・ヲコト点をコンピュータ(計算機)で扱いたい
- ・7×7の2次元座標
- ・漢字の中央を原点(0, 0)



ヲコト点図データベース

- ・築島裕『訓点語彙集成』所載の主要26ヲコト点図を収録
- ・ <https://cid.ninjal.ac.jp/wokototendb>



ヲコト点図データベース検索結果